

12月1日(水)

本年度第20回(通算2566回)12時30分～ 釧路プリンスホテル

『年次総会・次年度役員理事選出』 担当/理事会

☆お客様と来訪ロータリアン

☆メイクアップ

11月12日	高橋 貢君	釧路北RAC
11月12日	森山義文君	釧路北RAC
11月12日	小林裕幸君	釧路北RAC
11月12日	萩原昭博君	釧路北RAC

☆出席報告【会員総数68名 免除13名 出席計算に用いた会員数68名】

11月10日 出席及びメーカーキャップ 45名 出席率 67.2%  
 11月17日 " 48名 出席率 71.6%

☆ニコニコ献金 (今年度累計 361,000円)

- ・年次総会宜しくお願い致します 三原克也君・小松亮次君・能登信孝君
- ・去年を思い出します。あっという間の一年です 泰地浩幸君
- ・年次総会をまた迎えることが出来ました 松田信明君
- ・fitに登場した松田ガバナー補佐 かつこよか 石井東洋彦君

☆会長挨拶

先週開催されました第2回「IDスポーツ大会」は、昨年同様90名規模の大きな大会となりました。お手伝いと競技に参加をしていただきました会員の皆様にお礼を申し上げます。

さて、12月に入り、私の年度も本日の例会を含め残すところ3回で前期が終わろうとしております。一月一月が反省の月でありましたが、下期に向けてロータリーとは、奉仕とは、クラブライフとはを、改めて考え、次につなげていきたいと考えております。

本日の例会は次年度理事を選任する年次総会です。議案の進行につきましては、会員の皆様のご協力をお願いいたしまして、会長挨拶とさせていただきます。

☆幹事報告

①本日回覧しているものを報告します。

- ・国際ロータリー年次大会 ニューオリンズ大会参加のご案内
- ・釧路西・釧路東・根室RCより届きましたプログラムのご案内と会報
- ・釧路南・釧路ベイRCより届きましたプログラムのご案内
- ・士別RCより創立50周年記念誌
- ・先週行われたIDスポーツ大会の釧路新聞に記載されました記事のコピー

②RIより12月のレートのご案内が届いております。1ドル82円です。

③メールボックスに深川先生の例会記録とロータリーの友を入れました。

④RACよりクリスマス例会のご案内が届いております。参加される方は、幹事までご連絡ください。

次年度理事予定者



会長  
能登信孝君

只今の年次総会に、次年度理事の皆さんをご承認していただきまして有難うございます。私は、在籍年数だけは28年と長いのですが出席免除会員になってからは、夜の例会しか出席していませんでしたので、最近のロータリーのことを、これから勉強しなければなりません。エレクトに選任されたときは、まだ時間はあると思っておりましたが、理事・役員を選任するとなると、大変なのがありました。これからの自分が、やっていけるのか不安な目々がつづいていましたが、おかげさまで、ロータリーに精通している皆様に理事を、お願いしましたら、快く引き受けていただきまして有難うございます。

理事、役員そして会員の皆に、ご協力していただき次年度の、北ロータリークラブ運営をしたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



会長エレクト  
森山義文君



副会長  
小野寺英夫君



幹事  
田中和紀君



会計  
坂入信行君



直前会長  
三原克也君



クラブ管理・運営部門  
中井寛君



会員増強・会員維持部門  
泰地浩幸君



奉仕プロジェクト部門  
石井東洋彦君



新世代・財団・米山部門  
富樫孝之君



アカデミー部門  
小松亮次君

会員皆様のご協力を  
宜しくお願ひ致します。

ご冥福をお祈り、謹んでお悔やみ申し上げます。

弔辞 金森元英君を偲んで

釧路北ロータリークラブ 会長 三原克也



金森元英殿  
2010年12月24日逝去 (79歳)

ロータリー歴  
1984年5月30日入会

- 1984年度 会計
  - 1985年度 会計
  - 1986年度 会計
  - 1987年度 会計
  - 1989年度 幹事
  - 1994年度 会長エレクト
  - 1995年度 会長
  - 1996年度 地区大会会計
  - 1997年度 直前会長・R情報委員長
  - 1998年度 R情報
  - 1999年度 会員増強
  - 2000年度 財団委員長
  - 2001年度 SAA
  - 2002年度 新世代基金・親睦
  - 2003年度 新世代基金
  - 2004年度 R財団
  - 2005年度 ガバナー補佐補佐
  - 2006年度 R財団
  - 2007年度 出席
  - 2008年度 地区大会長
  - 地区幹事
  - 財団国際
  - 2009年度 会員増強維持
  - 2010年度 財団
- ★89～90PHF
  - ★95～96MPHF①
  - ★96～97MPHF②
  - ★00～01ベネファクター
  - ★04～05米山功勞①
  - ★05～06MPHF③
  - ★08～09MPHF④
  - ★09～10ベネファクター

金森元英殿の御霊前に、釧路北ロータリークラブを代表し、慎んでお別れの言葉を申し上げます。金森先輩…。普段『先生』とお呼びしておりますが、今日はロータリアンとして、あえて『先輩』とお呼びすることをお許しください。金森先輩とは親子ほど歳も離れておりますし、ロータリー歴も私は15年そこそこですが、先輩は在籍26年と7カ月、吾がクラブの長老のお1人でいらっしゃいました。

先輩と最後にお会いしたのは先月の29日、泰地幹事と一緒に病院にお見舞いに伺った時でした。ベッドから起き上がり、『そろそろ退院できそうだから、来年からは酸素ボンベを背負ってでも例会に出席しますよ!』と笑顔で語られた姿に、思っていたより元気な様子で、内心ホッとし、さっそく来年の例会では『金森卓話』をプログラムしなければならぬと考えていた矢先でした。

しかし、まさかの言卜報に・・・、あのお見舞いが金森先輩との最後になるとは・・・、もうあの笑顔に接することができないとは・・・、もうあのユニークな含蓄のあるスピーチを聴くことができないとは・・・、いまもって信じられないのは私だけでしょうか…。私が亡き父に代わり、釧路北ロータリークラブに入会させていただいた入会式の日、あの優しくこやかな笑顔で、「三原君のお父さんには、わたしも大変お世話になったんですよ。お父さんに負けないように仕事もロータリーも頑張ってくださいね。何かあったら遠慮なく相談してください」と、声をかけていただいたことを思い出します。その後、例会場で席を同じくしたときや、廊下ですれ違ったときには、いつも優しく言葉をかけてくださいました。今年度、図らず

もクラブ会長職をお引き受けしたときも、あの優しい口調で励ましの声かけをして下さいました。

金森先輩のロータリーへの貢献は、数えあげればきりがございません。なかでも、38代の会長を務められたことはもちろん、2005・6年度は国際ロータリー第2500地区第7分区のガバナー補佐を務められました。そして2008・9年度には吾がクラブから誕生した足立ガバナーのもと、地区大会の大会長を務められ、釧路に2000人の会員を集める大イベントの重責を見事に果たされました。

また、ロータリアンの仲間で作るボランティア団体『いちの会』の会長も永年務めておられ、マリモ学園や育児サークルへの支援を活発に実施されてこられました。どんなに忙しくとも、どんなに困難な仕事も、いつもにこにこしながら、あの優しい笑顔と言葉で私達を励まして導いてくださいました。

金森先輩が、『ノープレス・オプリージ』について書かれた文章を読んだことがございます。このとき初めて知った言葉ですが、ノープレス・オプリージとは『責任ある立場の人に求められる献身的使命感』という意味だそうです。よく『ロータリアンらしくない』と先輩が言われたのも、そういうことだったのかと納得しました。いま考えると、金森先輩こそが最もロータリアンらしい『ノープレス・オプリージ』の人生を歩まれていたのではなかつたと思われまふ。

今後私達は、その大先輩に直接お会いすることも、大切な教えを聞くこともできなくなりました。しかし、メンバー1人ひとりの心の中で先輩は必ずや生き続けているものと信じます。そしてことあるごとに、あの独特の口調で語られる優しい励ましのお声が聞こえてくるのではないかと確信致します。

改めて、お礼の言葉を申し添え、黄泉の旅程のご冥福をお祈りし、お別れの言葉といたします。金森先輩!・・・金森先生!・・・

本当に有り難うございました。

